

皆様いかがお過ごしでしょうか？
日々、暮らしの中で、発生する室内の汚れや傷。
補修するのは大変だからと放置していませんか？
今回は比較的簡単に出来るフローリングのお手入れをご紹介します。



フローリングのお手入れ

【フローリングの寿命を左右するちょっとした心がけ】

フローリングの床を長持ちさせるには、寿命を縮めてしまう空気や直射日光、熱から守ってあげるのが大切。ヒビ割れや面材のふやけの原因となるので、水をこぼした時はすぐに拭き取ります。また、直射日光に長く当てると、ヒビ割れや変色、隙間が生じることがあるので、カーテンなどでお部屋に差し込む日光を遮るようにします。ホットカーペットを直接敷くのもNG。ワックスのはがれ、面材の反りの原因になります。普段のお手入れも乾拭きが基本。水拭きは汚れがひどいときだけにします。

【半年に一度はワックスがけ】

汚れや傷からフローリングを守るためにも、少なくとも半年に一回はワックスがけをしたいもの。おすすめの時期は、湿度の低い春と秋。ワックスが乾きやすい、よく晴れた日を選びます。

ワックスがけは下準備として、まず掃除機でゴミやホコリを取り除きます。次に固く絞って水拭き。

床が乾いたら、初めてワックスがけ。部屋の奥から入口に向かって少しずつワックスを塗っていきましょう。ワックスが完全に乾く前に触ると、ムラが出てきたりツヤがなくなったりするので、風通しを良くして、完全に乾かします。



フローリングの補修

【傷の補修】

着色補修剤又は油性のサインペンを用意。使用する色は目立たないところで試し描きして決めます。

- ・こすれてできた広く浅い傷は、薄めの色を選んで、木目に沿って線を描きながら塗り重ねます。
 - ・木目に沿った傷は、同系色を傷に沿って塗りこみます。
- 木目と垂直についた傷は、2～3色使用して木目に見えるように目に沿って塗りこんでいけば良いでしょう。

【へこみの補修】

へこみの補修には、フローリング補修剤と着色補修剤、ドライヤー、タオルを使います。

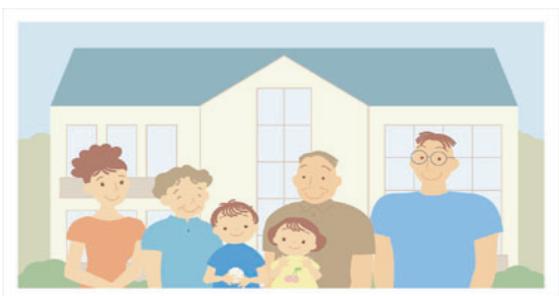
ヘラの先に、ドライヤーで柔らかくした補修剤を取ってへこみ部分に塗ります。

少々多めに塗って指でしっかり埋め込みます。

再度、ドライヤーで柔らかくしてヘラで余分な補修剤を除去。

次に補修剤を埋め込んだところを、タオルで水平になるように磨きます。

完全に固まったら、着色補修剤を塗って周りの色に合わせていけば完了。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp
URL : <http://www.toya.co.jp>